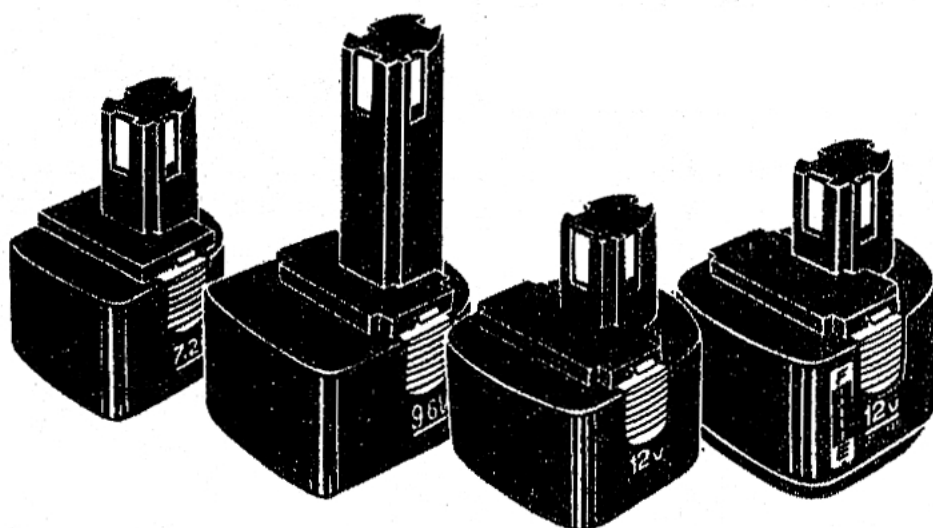


マックス充電式電池パック

JP-107, JP-109, JP-112, JP-112B

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書（電池パックおよび充電式工具・充電器の取扱説明書）を読む。
- 使用しない時は短絡防止用パックキャップを端子部に必ずかぶせる。
- 電池パック端子部（金属プレート）に他の金属を絶対に触れさせない。短絡（ショート）して発熱・発火・破裂・発煙の恐れがあります。
※釘の入った袋（釘袋）や針金・金属の入った箱の中に絶対に入れない。
- 火中や焼却炉に絶対投げ込まない。破裂したり有害物質発生の恐れがあります。
- 雨や水にぬらさない。
- 充電にはマックス充電器JC-112E（JC-112F）を必ず使用する。
- 廃棄処分は環境保護とリサイクルのため、必ずマックス製品取扱店またはマックス事業所・サービスステーションへ持ち込む。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。
- 本機（電池パック）の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

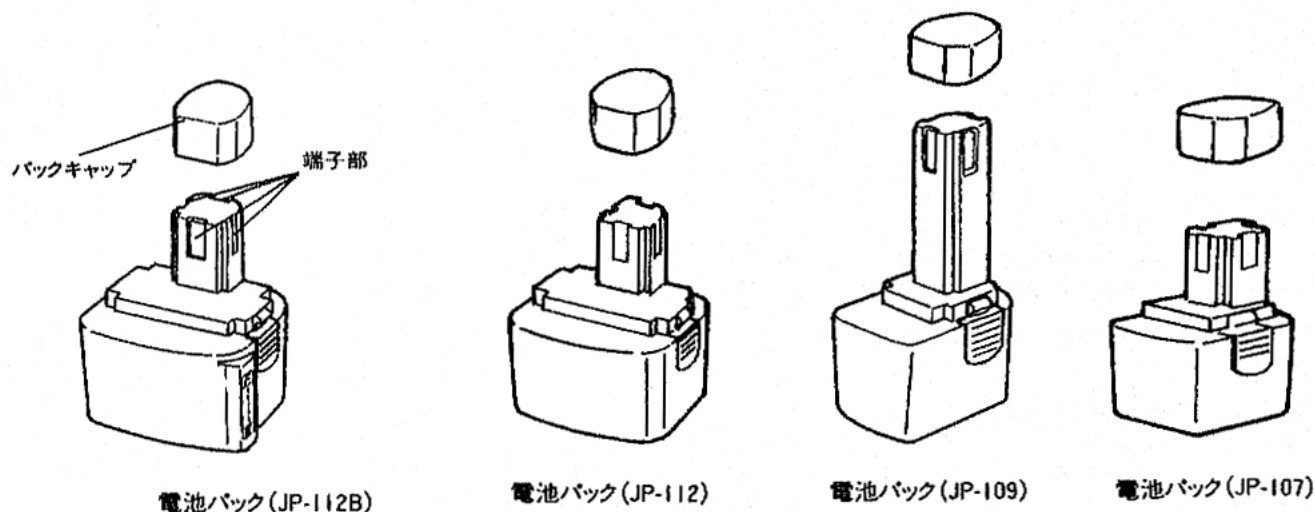
MAX®

このたびは、マックス充電式電池パックをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機電池パックの取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、充電式工具が本来の性能を発揮しないばかりでなく電池パック・充電器・充電式工具の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

1 各部の名称



2 ⚠ 警告 安全作業のために

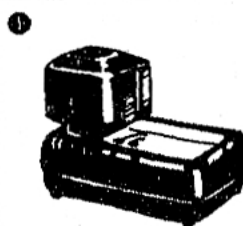
① 使用前に充電する。

新品の電池パックまたは長期間使用していない電池パックは、自己放電により満充電状態ではない場合があります。ご使用前に必ず専用充電器JC-112Eで充電してください。

② 必ず専用充電器で充電する。

電池パックの充電は必ず専用充電器JC-112Eで充電してください。他の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。

⚠ 警告



JC-112E

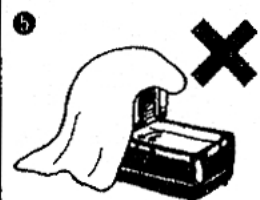


③ 雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に充電しない。水に濡れたまま充電すると、感電したり、短絡(ショート)して焼損・発火による火災の恐れがありますので絶対にしないでください。

④ 濡れた手で絶対に触れない。濡れた手で電源プラグ等を持つと、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。

⑤ 充電中に充電器に布などを絶対にかぶせない。布などをかぶせると発熱して焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。

⚠ 警告



⑥火気には近づけない。

⑦燃えやすいもののそばで使用・充電・保管しない。

⑧直射日光を避け風通しのよい場所で充電する。

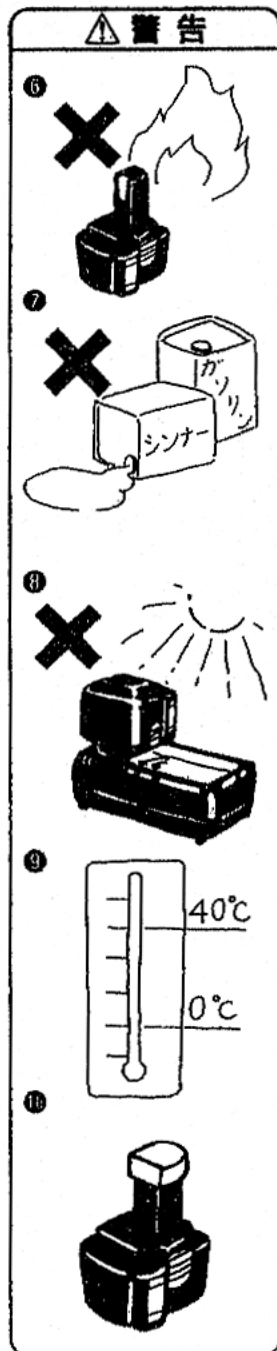
直射日光の下で充電すると高温になり、焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。

⑨周囲温度が0℃～40℃の範囲で充電する。

周囲温度が0℃より低い場合、また、40℃を超える場合は十分な充電ができません。

⑩電池パックは、使用しない時必ずバックキャップをかぶせる。

短絡（ショート）防止のために、使用しない電池パックの端子部にバックキャップをかぶせてください。

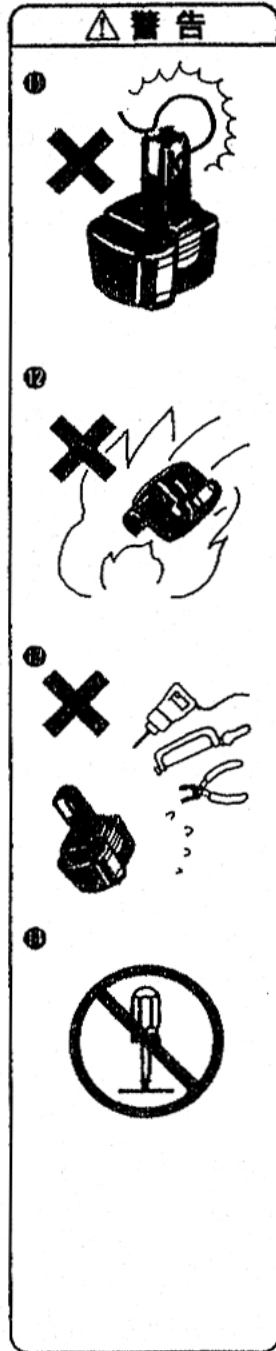


⑪電池パックの端子部（金属部）を絶対に短絡（ショート）させない。短絡（ショート）すると大電流が流れ過熱し、火傷をしたり電池パックを損傷させたりして危険です。

⑫電池パックを火中に絶対に入れない。爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。

⑬電池パックを絶対に分解しない。万一故障した時は、点検、修理に出してください。

⑭電池パックを絶対に改造しない。電池パックを改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。



3 仕様

電池パック機種	JP-107	JP-109	JP-112	JP-112B
種類名称	円筒密閉型ニッケルカドミウム蓄電池 KR-SC			
公称電圧	1.2V/1本			
1パック使用本数	6本	8本	10本	
電圧	DC 7.2V	DC 9.6V	DC 12V	
充電時間 (充電機JC-112E使用)	約9分		約12分	
残量表示(LED)	— (表示なし)	— (表示なし)	— (表示なし)	○ (表示あり)
適合機種	TG-Z	FB-210, FB-211 FB-260, FB-261 FB-470, FB-471	FH-410, FH-410A, FH-411	
付属品	パックキャップ (短絡(ショート)防止用)			

4 使用方法

1 充電方法

警告

●指定電圧で充電する。

必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。

●電源コードは大切に扱う。

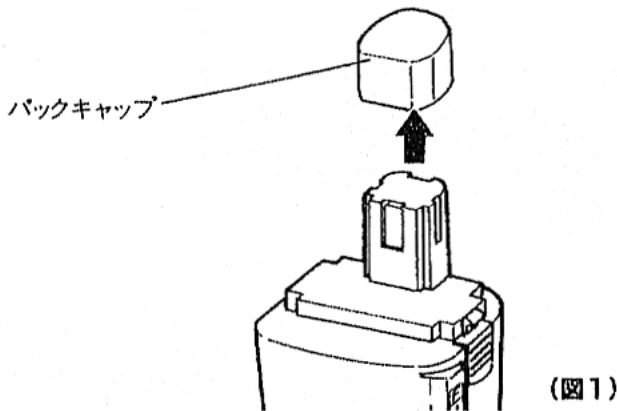
電源コードに損傷のある充電器はお使いにならず、修理に出してください。

●正常なコンセントを使う。

電源プラグをさし込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと過熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

①電池パックのバックキャップを外す。(図1)

端子部にかぶせてある短絡(ショート)防止用のバックキャップを外します。

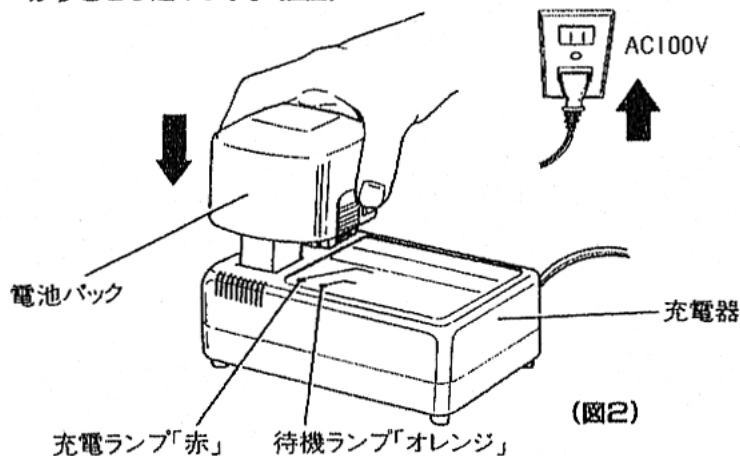


②充電器の電源プラグをコンセントにさし込む。

充電ランプ「赤」が点滅して、通電状態をお知らせします。

③電池パックを充電する。

1. 電池パックを充電器の電池取り付け穴の底にあたるまでしっかりとさし込みます。(図2)



2. 電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電ランプ「赤」が点灯して充電中をお知らせします。
3. 標準充電時間は機種により約9分と約12分です。充電時間は、気温や電源電圧により多少変動します。充電が完了すると、充電ランプ「赤」が点滅して充電完了をお知らせします。充電完了した電池パックを再度充電器にセットすると、再び「赤」が点灯することがありますが故障ではありません。しばらくすると、充電完了の点滅になります。
4. 低温時(約5℃以下)や、長い時間使用しなかった電池パックを充電する時は、電池保護のため30分充電になります。充電ランプ「赤」が約2.5秒に1回点滅して低温時充電中をお知らせします。

待機ランプ「オレンジ」が点灯した場合

電池パックが熱を持っている時(例:充電式工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など)は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。待機ランプ「オレンジ」が点灯して、待機中をお知らせします。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

待機ランプ「オレンジ」が点滅した場合

待機ランプ「オレンジ」の点滅は、充電できない状態をあらわします。この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜いて、電池パックさし込み口に異物が入っていないか確認してください。もし異物が入っていたら柔らかいものなどで異物を取り除いてください。異物が入っていない時や、異物を取り除いても待機ランプ「オレンジ」が点滅し続けるときは、電池パックまたは充電器に異常があると考えられますので、電池パック、充電器両方一緒にお買い求めの販売店またはマックスサービス㈱へ点検、修理にお出しく下さい。

充電器・電池パックの故障について

次のような状態は故障と考えられますので、電池パック、充電器両方一緒にお買い求めの販売店またはマックスサービス㈱へ点検、修理にお出しく下さい。

●充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントにさし込んでも充電ランプ「赤」が点滅しない。

(電池パックをセットしていない状態で)

※コンセントに電気が来ているかどうかは、別の電気器具で一度お試しください。

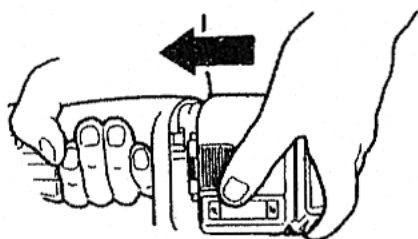
●充電器に電池パックをセットしても、充電ランプ「赤」も待機ランプ「オレンジ」も点灯点滅しない。

●待機ランプ「オレンジ」が点灯後1時間以上しても充電ランプ「赤」に切り替わらない。

●充電ランプ「赤」が点灯後20分以上しても点滅に切り替わらない。(低温時充電の時は除く。)

2 使用方法

電池パックを充電式工具本体に、カチッと音のするところまでさし込んで取り付けてください。(図3)



(図3)

電池パックの寿命について

以下のような現象が出るようになりましたら、電池パックの寿命が尽きたものとお考えいただき、新しい電池パックをお買い求めください。

●正しく充電を完了(満充電)しても充電パックの使用時間が著しく低下してきた場合。

●JP-112BではLED(ランプ)が最下段(E側)まで下がる前に、全ランプが点滅する場合。

⚠ 注意

寿命の尽きた電池パックは**使わない**。
そのままお使いになりますと充電式工具本体の故障の原因となり、充電すると充電器故障の原因ともなります。

電池パックの上手な使い方

●満充電して電気がなくなるまで、ほぼ使い切る。
蓄電された電気がまだ半分以上残っている状態での充電をくり返し行いますと、電池の寿命が短くなります。
満充電する→なくなるまで使う→満充電するの繰り返しを長持ちさせるコツです。また、このような使い方が電池の容量レベルを補正し、残量表示付電池パックの場合はLED(ランプ)の表示をより正確に保ちます。

⚠ 注意

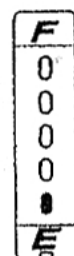
使い切った後、さらに無理な放電は**絶対にしない**。
充電式工具のモータの回転が遅くなり始めたら、ほぼ使い切った状態です。無理に使い続けると、過放電状態となり、電池パックの寿命を逆に縮めることになり、充電式工具本体の故障の原因にもなります。充電式工具のモータの回転が遅くなりましたら、充電を行ってください。

●過負荷状態での連続使用は避ける。

過負荷(充電式工具の能力以上)状態での連続作業は、充電式工具本体の損傷の原因になるばかりでなく、電池パックの温度上昇を引き起こし、電池パックの寿命を短くする原因ともなります。

使用中、充電式工具のモータが止まりかけたり、残量表示付の電池パックの場合LED(ランプ)の一番上(F側)の1個だけが点灯した時は、過負荷状態です。(図4)

※ ● : 点灯 ≡●≡ : 点滅 ○ : 消灯



(図4)

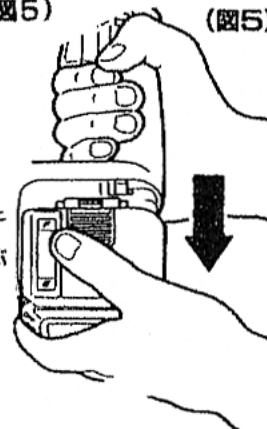
●2コの電池パックを交互に使う。

ひとつの電池パックを繰り返し使うよりも、スペアを用意して交互に使うほうが長持ちします。

3 使用後の保管方法

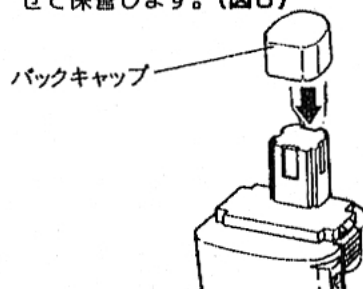
●電池パックを取り外します。

充電式工具本体をしっかりと持ち、電池パック両端のラッチを指で押しながら取り外します。(図5)



(図5)

●短絡(ショート)防止用のバックキャップを電池パックの端子部にかぶせて保管します。(図6)



(図6)

ニカド電池のリサイクルについて

マックス電池パックはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄りのマックス製品取り扱い店へお持ちください。環境の保全と資源のリサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

電池パックは、短絡(ショート)防止のため、端子部に必ずバックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルへ出す。

電池の不活性化について

お買い求めの時や、長い間(2ヶ月間以上)ご使用にならなかった時は、充電完了のまま、24時間充電してください。(電池パックの性能回復のため)

5 残量表示(LED表示)付電池パックについて

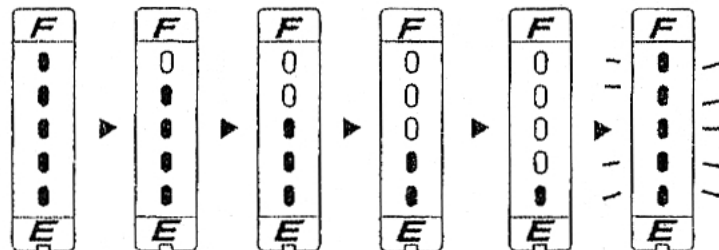
JP-112Bは残量表示LED付きの電池パックです。

残量表示LEDの点灯や点滅によって示される意味を、良く理解していただき、電池パックと充電式工具本体の能力を十分に活用願います。

①容量表示

●充電式工具のスイッチを入れて(ONにして)モータを回転させ、スイッチを放して切る(OFFにする)と約1秒後に、蓄電の状態に応じた数のLEDが約5秒間点灯して、電池パックの残りの蓄電量を表示します。(図7)

※スイッチは2秒以上入れて(ONにして)モータを回転させてから切って(OFFにして)ください。



(図7) 100~85% 85~70% 70~55% 55~40% 40~20% 20~0%

※ ● :点灯 ◐ :点滅 ○ :消灯

●蓄電量が20%以下になると5つのLED全部が点滅して充電時期をお知らせします。(図8)



(図8)

※ ● :点灯 ◐ :点滅 ○ :消灯

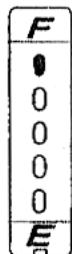
●LED表示の補正

長い間(約2週間以上)放置した場合や、モータロックした場合、また満充電せずに使用した場合などに、LED表示が正しく行われないことがあります。このような時は、一度電池パックを使い切った後、満充電してください。補正されます。

②過負荷表示

充電式工具の使用中に過負荷がかかると、一番上(F側)の1個のLED(ランプ)が点灯します。(図9)

すぐに作業を中止してください。



(図9)

※ ● :点灯 ◐ :点滅 ○ :消灯

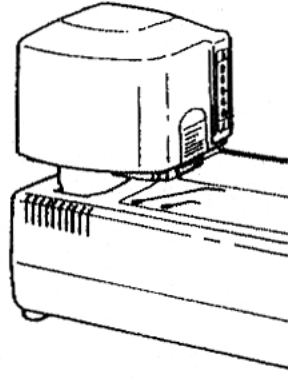
⚠ 注意

LED(ランプ)表示が「過負荷表示」をするような作業、使い方は絶対にしない。
電池パックの寿命を縮めるばかりか、充電式工具本体の故障の原因にもなります。

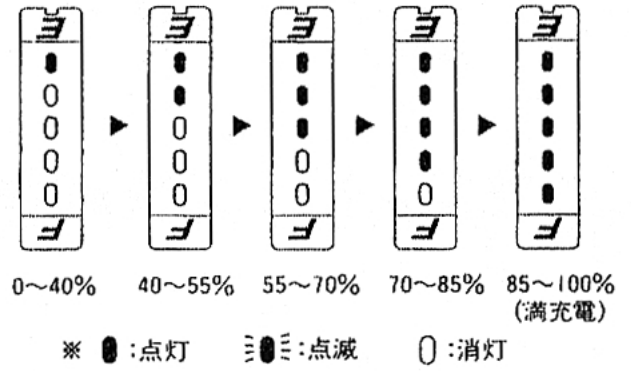
④ 充電状況表示

充電中、蓄電量に応じて順次電池パックのLED（ランプ）が点灯します。（図10）

LED（ランプ）の点灯はあくまで「目安」ですから5つ全部点灯してしても100%蓄電されたとは限りません。充電器の充電完了ランプで確認してください。



（図10）

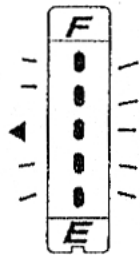


④ 電池パックの寿命表示

正しく満充電しても、使用時間が著しく低下して、電池パックの残量表示LED（ランプ）が最下段（E側）まで下がる前に、全LED（5個）が点滅すると電池の寿命です。

（図11）

新しい電池パックをお買い求めください。



（図11）

* ● : 点灯 ≡●≡ : 点滅 ○ : 消灯

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121代
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118代
札幌店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141代
仙台店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121代
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531代
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031代
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331代
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416代
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541代
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012代
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500代
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051代
川崎営業所	〒213-0032	川崎市高津区久地597-1セブンエースト久地1F	TEL(044)844-4700代
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300代
岐阜営業所	〒501-6016	羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551代
泉南営業所	〒596-0825	岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211代
神戸営業所	〒658-0081	神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220代
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347代
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112代
水戸マックス(株)	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761代
群馬マックス(株)	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123代
埼玉マックス(株)	〒331-0044	大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341代
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400代
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661代
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市征賀8155	TEL(0263)26-4377代
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740代
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116代
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871代
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182代
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378代
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061代
兵庫マックス(株)	〒673-0404	三木市大村109-1	TEL(0794)83-2121代
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516代
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599代
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286代
松山営業所	〒790-0951	松山市天山町28-1	TEL(089)913-0608代
マックスサービス(株)本社	〒330-0038	埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448代
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815代
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210代
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430代
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670代
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778代
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487代

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358

月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

G0404